

氏名	飯嶋 周也	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科卒業 2023年 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程修了				
経歴	2018-2022年 日本赤十字社武蔵野赤十字病院看護師、2022年-2024年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科非常勤助手、2024年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護管理学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	看護師の心理的安全性とレジリエンスとの関連-COVID-19重点医療機関を対象とした横断的調査-	共同	第28回日本看護管理学会学術集会、名古屋		○飯嶋 <u>周也</u> 、鈴木康美、國澤尚子、高橋恵子	2024.8
2	看護実践のリフレクションの支援能力自己評価票の開発	共同	第44回日本看護科学学会学術集会、熊本		○鈴木康美、國澤尚子、吉村基宜、飯嶋 <u>周也</u>	2024.12
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学奨励研究：新任者等	看護師の心理的安全性に影響を与える要因の特定：スコーピングレビュー		研究代表者	2024.5～2025.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護管理		8	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。対面のグループワークに参加し討議が活発になるよう支援した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護過程論		16	1年生対象：科目責任者と協力しながら、看護過程に必要な思考の方法を理解できるように指導を行った。また、学生のグループワークが円滑に進むように支援した。		
2	看護方法Ⅰ		16	1年生対象：科目責任者と協力しながら、看護の基本技術、主に環境調整やバイタルサイン測定などの指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。		
3	看護方法Ⅱ		16	2年生対象：科目責任者と協力しながら、日常生活援助技術、主に水平移動、車いす移乗などの指導や、物品準備・片付け等の運営補助を行った。		

4	看護方法Ⅲ		16	2年生対象：科目責任者と協力しながら、日常生活援助技術、主に全身清拭、オムツ交換などの指導や、物品準備・片付け等の運営補助を行った。
5	看護方法Ⅳ		16	2年生対象：科目責任者と協力しながら、診断治療の援助技術、主に採血や注射などの指導や、物品準備・片付け等の運営補助を行った。
6	看護方法Ⅴ		16	2年生対象：科目責任者と協力しながら、フィジカルアセスメント技術に関する指導や、物品準備・片付け等の運営補助を行った。
7	IPW演習		16	3年生対象：科目責任者と協力しながら、他学科の学生で構成されたチームの活動が円滑に進むようにファシリテータし、学生のリフレクション内容に対してフィードバックした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎看護学実習Ⅰ		学外実習：2025.2	1年生対象：科目責任者および他教員と協力しながら草加市立病院で見学実習を行う学生39名に対して直接的指導を行い、カンファレンスの運営をサポートした。
2	基礎看護学実習Ⅱ		学外実習：2024.10	2年生対象：科目責任者および他教員と協力しながら越谷市立病院で受け落ち患者の看護過程の展開および看護実践の実習を行った学生5名の直接的指導を行った。また、急遽学内実習に変更となった学生5名に対しては、他教員と協力しながら病院実習と同様の学びが確保できるように環境調整および直接的指導を行った。
3	総合実習		学外実習：2024.7	4年生対象：科目責任者および他教員と協力しながら草加市立病院で見学実習を行う学生5名に対して直接的指導を行い、カンファレンスの運営をサポートした。実習2週目から急遽学内実習へ変更となったため、他教員と協力しながら病院実習と同様の学びが確保できるように環境調整および直接的指導を行った。
4	ヒューマンケア体験実習		学外実習：2024.9	1年生対象：2施設10名の学生を担当し、学外実習4日間が円滑に行えるよう施設の担当者との連絡調整を行い、カンファレンスに参与した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	副指導 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	大学広報活動	オープンキャンパス（6月）	2024.6
2	大学広報活動	高校生実習室見学（12月）	2024.12
3	学科等における委員会等	基礎看護学感染症係	2024.4～2025.3
4	学科等における委員会等	看護方法Ⅱ科目担当	2024.4～2025.3
5	学科等における委員会等	ジャーナルクラブSPU運営	2024.7～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	日本看護科学学会第44回学術集会 優秀賞	日本看護科学学会	2024.12
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		